
小さな恋

霧野ミコト

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

小さな恋

【ZPDF】

Z0161D

【作者名】

霧野ミコト

【あらすじ】

ずっとずっと小さな頃から好きだった。だけど、臆病だから言えなかつた。これは、そんな男の子の、お話。

僕が好きなのは幼馴染の春樹。

いつも一緒に居たから、気がついたら、彼女のことがばかり目で追いかけるようになつてた。

だけど、彼女は違うみたい。

いつのまにかに、僕とは違う男友達を作つたり、友達と恋の話をしたりして、僕のことからどんどん離れていく。

だけど、僕には何もできない。

だって、僕と彼女をつなぎとめている関係というのは、単なる幼馴染。

それだけでしかない。

だから、もじこじで変なことをしてしまえば、最悪その幼馴染ですらいなくななる。

それが僕はいやだった。

臆病だといわれるかもしねれない。

それでも、僕は何にもいえない。

だって、それぐらい彼女のことが好きだから。ずつとずつと。

小学校に入る前から好きだった。

あのいつでもまっすぐ前を見ている目が好きだった。

いつも弱気だった僕を前へと押し出すあの目が好きだった。

それは今でも変わらない。

彼女の目は、いまだに前を見ている。

いつだつてしまふ前を見ている。

いつも前を見ている彼女は、僕とは違つて勇氣があつた。

今日、彼女が僕の友達に告白をした。

僕にとって一番大切な友達で、親友といつてもいいくらいだ。

その人に告白した。

そして、僕はそれに協力をした。

幼馴染だから。

幼馴染だから、協力しなきゃいけない。

それが彼女の言い分だった。

まあ、言い方は多少違つたけど、そんな感じだった。

明日から、また僕の彼女の中での位置が変わる。

今まででは単なる幼馴染だった。

だけど、今日からは、幼馴染兼彼氏の友達。

今日から僕はそうなる。

それが悔しかった。

だけど、どうしようもできなかつた。

臆病な僕には何もできない。

明日から距離を置こう。

それが、幼馴染としてできる、唯一のことだ。

幼馴染への恋。

それはたぶん男のほうが抱くもんだと思う。

女の子は多分違う。

広い世界に出て、もっといい男に出会い、恋をしていく。

だから、漫画のようにはいけない。

僕の恋が実ることなんてない。

彼女にとって僕は男じゃない。

単なる幼馴染。

それ以上でも、それ以下でもない。

ただ、それだけでしかないんだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0161d/>

小さな恋

2010年11月14日00時07分発行